

ほっとステイの事業

取組に至る背景・事業の目的

- 都会の小学校・中学校・高校を対象として農村体験を提供し、豊かな自然環境の中で農業体験だけでなく、祖父母世代との触れ合いをとおして、豊かな人間形成の機会を提供する。
- 少子高齢化が進む農村地域で生活する高齢者が、子ども達と交流することで、生きがいを感じていただき、地域の活性化を図る。

事業内容

- 農村体験「ほっとステイ」の提供のための環境整備
 - ・地域内案内看板の設置
- 生きる力を育てる観郷ウォークの実施
 - ・設問集、解答用紙の作成

事業効果

- 今年度は3年目になり、受け入れた学校は前年の1校から9校に急増し、生徒数合計約1,400名の受入を行うことができた。
- 受入農家は当初3地区35戸でスタートしたが、10地区60戸に増加した。
- 農村体験で1日を農家のおじさん、おばさんと過ごした生徒は、大自然の中で心を開き、純真で素直な感受性で目を輝かせて人と人との関係の大切さを学ぶ体験をしてくれたと考えている。
- 農家の方も子供たちの純真さに触れ、この事業の教育効果と子供たちから元気をもたらすことができた。
- ほっとステイに参加した学校は、茅野・諏訪エリアで2泊3日を過ごしており、周辺のホテル・旅館や観光事業の活性化にも役立っている。



【ほっとステイの一場面】

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 受け入れ農家の都合の確認や資料配布が大変なため、農家数の多い地区には代表者を決めて、それらの作業を分担して行っている。
- 人数が多い学校だと、受け入れ農家が足りなくなる場合がある。このため受け入れ農家の新規開拓が必要になり、新たな地区の開拓が必要になっている。
- 農村体験の基本は農作業のため、当日の天気を心配する受け入れ農家が多い。雨天の場合は、農家固有の食べものづくりや軒先での作業などを提案しているが、天候の心配は当日まで続く。
- 今後も学習旅行の積極的誘致と旅行者へのさらなるPR活動を図っていく。

【選定のポイント】

活動3年目になり9校の学習旅行の受入を実施し、参加者の増加による交流の促進地域と活性化が期待できる。

団体名 信州縄文の里茅野（茅野市）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先 電話 0266-77-3780	事業費	526,997円
メールアドレス hotstay-chino@live.jp	支援金額	370,000円